

『紫白の猛き徴』

花園で勝つ



主将

児玉 樹

昨年、三年振りの花園出場を果たしたものの、初戦で涙をのむ結果になりました。そして、新チームになり立てた目標は昨年同様「全国制覇」でした。

全県新人、東北新人を制し、迎えた全国選抜大会では予選リーグ全敗となり、全国で戦うためにはまだまだ力が足りないと感じさせられました。特にディフェンス面では相手の展開についていくことができませんでした。この差を埋めるべく、練習試合等でもしっかりとターゲットを決めて臨んできました。その結果、着実に力を付け、七月に行われた秋田県協会招待試合では御所実業に勝利することができました。この勝利は自分達にとって非常に大きなものになりました。

目標を「限界への挑戦」として取り組んだ夏合宿では一人ひとりが自分を追い込み、レベルアップを目指して頑張りました。続く菅平合宿では意地や気持ちの前面に出して、自分たちのラグビーをすることができました。ここでの気持ちを大切に、頑張っていきたいと思います。

花園予選まで残りあとわずかとなりました。目標を達成するためにはチーム、個人共にまだまだ成長しなければなりません。昨年の成績を超え、今年こそ全国で勝利するために、アタック

力、ディフェンス力、ゲームマネジメントなどを仕上げていきます。また、沢山の人々に支えられていることを決して忘れず、感謝の気持ち、秋工ラガーマンとしての誇りや情熱を常に持って試合に臨みます。そして、このチームでできる試合を大切に、一戦必勝で戦っていきます。

十六度目の全国優勝へ



副主将

柴田 凌光

伝統のあるラグビー部へ入部して約二年半が経ちました。日々厳しい練習に取り組み、力が段々と付いてきているということを実感しています。しかし、最近では秋工ラグビー部は花園に出場することができておらず、昨年は三年振りに出場したものの初戦敗退という悔しい結果となってしまいました。

新チームになり、二年連続の花園出場と全国優勝を成し遂げるため、冬期間は体づくりに力を入れ、基礎から徹底的に鍛え直してきました。その結果、東北新人大会では優勝することができました。しかし、続く全国選抜大会では予選リーグ三敗という厳しい結果になりました。ここで感じた全国の強豪との差を埋めるにはどうしたらいいかを選手一人ひとりが考えて練習を行い、また、更にレベルアップするための練習以外の日々の生活や挨拶といった部分も一から見直しました。そのおかげで、チームの団結力も増し、確実にレベルアップしていると感じています。

花園予選では、これまで指導してくださった監督、コーチ、OB、支えてくれた両親など全ての方々への感謝を

忘れず、秋工らしく激しく気合の入った試合をし、まずは二年連続で花園への切符を掴み、十六度目の全国優勝を目指して頑張ります。

最後の花園



副主将

小島 燎成

伝統ある秋田工業に入った一昨年は花園予選で敗退、昨年は三年ぶりとなる花園に出場はしたが、初戦敗退と悔しく、辛い経験をしてきました。試合後、何もすることができなかった自分を恥ずかしく思い、自分自身が変わらなければいけないと決心しました。

新チームになり、迎えた東北新人大会では先輩方のサポートもあり、二年連続となる優勝を掴み、全国選抜への出場を決めることができました。しかし、全国選抜では自分たちの力が通じず、三戦全敗という結果になってしまいました。この大会では他のチームに比べ、コミュニケーションが不足していると感じました。DFのラインメイク、モールのコントロールなど様々な点でまだまだ声をかけ合うことができていませんでした。それからは練習中からコミュニケーションを密にとり徐々に改善されてきています。これを活かし、東北総体でもしっかりと勝利することができました。

今年で三年生は最後の花園となります。泣いても笑っても、これからは一戦一戦が最後の戦いとなっていきます。後悔しないよう、全力で戦います。そして一六度目の全国優勝に向け、チーム一丸となって頑張っていきますので応援よろしくお願いします。

秋工ラグビー部に入部して



一年生代表

田口 颯汰

私たち一年生十六名が入部し、半年が経ちました。入部したばかりの頃は、生活面や部活動面で分からないことが多くありました。そのような時に先輩達が優しく、時に厳しく指導してくれました。また、先生方やコーチ、OBの皆様のおかげもあり、今では伝統ある秋田工業ラグビー部の一員としての自覚を一人ひとりがしっかりと持つことができました。

一年生は初め、基本的なパスキャッチング、コンタクトスキルなどの練習を行いました。練習中は仲間同士、沢山の声をかけ合い切磋琢磨してきました。夏合宿では苦しい時や辛い時も励ましあいながら、これまでの練習の成果を出し切ることができました。その結果、自分達のスキルが向上し、自信を持つことができました。しかし、菅平合宿では全国の強豪チームと試合を行い、これまで以上にスキルやコンタクトの部分を上向きさせていかなければならないことを実感しました。この経験を活かし、これから頑張っていきたいと思えます。

間もなく花園予選が始まります。花園優勝という目標のもとに三年生は厳しい練習を乗り越えてきました。ここで負けるわけにはいきません。ラグビー部一丸となり、助け合い、手を取り合って花園に出場し、全国優勝という栄光を掴み取れるよう、私たち一年生も全力でサポートします。